事例
No.154

西山東地区公民館

《組織について》

役員１０人　運営審議会委員１５人
パッチワーク教室会員１６人　絵手紙教室会員１５人
囲碁クラブ会員１２人

《組織の設立経緯》

国の社会教育法を受けて、昭和２５年１２月２０日、西山東村公民館が発足する。
昭和３１年９月１日和歌山市との合併にともない、西山東地区公民館に改称され、
現在に至る。

活　動　内　容

パッチワーク教室、絵手紙教室、囲碁クラブ共それぞれ年間を通して原則月２回（１回数時間）活動している。そして、年１回作品展を開催し、パッチワークや絵手紙そして小学校子どもセンターの生花などの作品を展示し、地区の皆様方に観賞していただいている。
又、ブロック公民館協議会で歴史文化講演会を、地区人権委員会との共催で研修会を行っている。更に本年度（平成２６年）は自治会、各種団体、小学校育友会が一体となり、「住民交流による心の結びつきの深化」「親と子の共育コミュニティの場」「安心・安全地域づくりに向け防災意識の高揚と備えの働きかけ」の目標を掲げ、「ふれあい・ぼうさい祭」を実施する。

工　夫　・　問　題　点

各教室や研修会などに多くの方々が参加してくださるよう、いろんな機会を通じて呼びかけていく。

その他写真等